

【高校英文法】 受動態 (1)

● 受動態 (1) ポイント

- ▼ 1 暴け！受動態の本当の姿
- ▼ 2 受動態の基本のバリエーション
- ▼ 3 SVOO, SVOC の受動態

▼ 1 暴け！受動態の本当の姿

★★★英語の受動態と日本語の「~れる/~られる」の区別

日本語で受け身の「~れる/~られる」は主に「被害・利益」を表すときに使う！

例) お菓子を食べ**られた** (被害) 実績が認め**られた** (利益)

だから、受け身で日本語訳して不自然だったらガンガン能動態で訳すべし！

■ 英語で受動態を使う理由

- ① Sを言いたくない (不明、必要がない)
- ② SとOを入れ替えたい

① Sを言いたくない (不明、必要がない)

a. English **is spoken** (by them) in India. 「インドでは英語が**話されています**。」

↪不要、なくていい

b. Some beautiful pictures **are sold** (by 店員) at that shop. 「あの店では美しい絵を**売っている**。」

↪当たり前だから不要

c. This window **was broken** (by ???) yesterday. 「昨日この窓が**壊された**んだ。」

↪不明、誰かわからない

② SとOを入れ替えたい (強調 or 文の流れをよくするため。)

a-1. Seisuke painted this picture. 「せいすけがこの絵を書いたんだ。」

S

O

a-2. This picture was painted by Seisuke. 「この絵を書いたのはせいすけなんだ。」

S (元はO)

行為者 (元はS)

英語には「**エンドフォーカス (end focus)**」といって、**強調したいものをあとに置く**傾向がある。これは日本語でも一緒で、例えば ①「サトシがこのケーキを食べた。」と ②「このケーキを食べたのはサトシだ。」だったら、②の方が「食べたのは**サトシだ!**」ってことを強調しているよね。

▼ 2 受動態のバリエーション

① 助動詞とセット

【助動詞 + be + p.p.】

The book **can be borrowed** from the library. 「その本は図書館から借りることができる。」

The car **must be bought** by Ken. 「その車を買うのはケンに違いない。」

② 進行形とセット

【受動態 + 進行形】 = be 動詞 + being + p.p. ←割とカンタン♪ being を入れるだけ！

My house **is being built** now. 「僕の家は今建てているところなんだ。」

The cake **is being baked** now. 「そのケーキは今（焼かれている→）焼いているところです。」

☆ 進行形なので「途中」「一時的」のニュアンスになる！

③ 完了形とセット

【受動態 + 完了形】 = have been + p.p.

This song **has been sung** by a lot of singers. 「この歌はたくさんの歌手によって歌われてきた。」

↑ 完了形だから「今でもずっと歌われている」ってことやね。

My room **had been put away** when I came got there.

「そこについたときはすでに部屋が片付けられていた。」

▼ 3 SVOO, SVOC の受動態

① SVOO の受動態

Satoshi sent Rinta a nice present. 「智は臨太にステキなプレゼントを送った。」

→ Rinta **was sent** a nice present by Satoshi. 「渡される人」が主語

→ A nice present **was sent to** Rinta by Satoshi. 「渡されるモノ」が主語

【モノが主語にくるときの注意点！】

to か for が必要になる！ (ex)

相手が必要な動詞 → **to + 人** give (与える) teach (教える) send (送る) lend (貸す) など

相手が不要な動詞 → **for 人** make (作る) buy (買う) cook (料理する) など

② SVOC の受動態

【SVOC 型】

a. Haruki named the cat Mimi. 「ハルキはその猫をミミと名付けた。」

→ The cat **was named** Mimi by Haruki.

b. Seisuke calls the dog Pochi. 「せいすけはその犬をポチと呼ぶ。」

→ The dog **is called** Pochi by Seisuke.

【SVOC (to ~) 型】

My boss told me to carry this bag to the room. 「上司は私にこのカバンをその部屋に運ぶよう言った。」

→ I **was told to** carry this bag to the next room by my boss.

㊦ 使役動詞・知覚動詞の受動態

【使役動詞】

使役動詞は能動文では原形を使うものでも、受動態では to が必要になる。

Sora made her cook breakfast. 「そらは彼女に朝食を作らせた。」

→ × She was made cook breakfast.

→ ○ She was made **to** cook breakfast.

【知覚動詞】

知覚動詞は能動文では原形を使うものでも、受動態では to が必要になる。

They heard her sing. 「彼女が歌うのを聞いた。」

→ × She was heard sing.

→ ○ She was heard **to** sing.

ただし、あくまでも「**原形の時だけ to ~に変える**」ことに注意！

They heard her singing. 「彼女が歌っているのを聞いた。」

→ She was heard singing.

=====

【探求】現在形と進行形のニュアンス

さあ、上の例文で使われていた2つの文はどう違うのか考えてみよう。

a. They heard her **sing**. 「彼女が歌うのを聞いた。」

b. They heard her **singing**. 「彼女が歌っているのを聞いた。」

時制を完璧に勉強している人がバッチリ答えられたんちゃうかな?? 復習すると、現在形は「**包括形**」で「**過去+現在+未来**」、「**動作の始まり~終わり**」を包み込んでいるニュアンスやったな。逆に進行形は「**途中**」「**一時的**」ってニュアンスやった。だから a は現在形で使われているから、彼女が「**歌い始めてから歌い終わるまでの一部始終を聞いた。**」って意味になる。そして b は「**歌っている途中の一部を聞いた。**」って意味になるんやで。全部聞いたのか、ある一部だけを聞いたのかでは意味が変わるもんね。こんな風にこれまで習った文法がどんどん他の分野とコラボしてくるから、その時に「おー、なるほど!」って思ってくれると嬉しいなあ～

【高校英文法】 受動態 (2)

●受動態 (2) のポイント

- ▼ 1 熟語の受動態と感情他動詞
- ▼ 2 受動態の気をつけるべきバリエーション

▼ 1 熟語の受動態と感情他動詞

◆ 中学で習った by 以外の前置詞を使う受動態

be covered with ~	~で覆われている
be filled with ~	~でいっぱいだ
be crowded with ~	~で混んでいる

be made of ~	~で作られている (原材料識別できる)
be made from ~	~で作られている (原材料識別できない)
be made into ~	(作られて or 加工されて) ~になる

ex. Milk is made into cheese. 「牛乳はチーズになる。」

◆ 熟語の受動態でよく出るもの

laugh at ~	~を笑う	look up to ~	~を尊敬する
run over ~	(車が) ~を引く	look down on ~	~を軽蔑する
speak to ~	~に話しかける	look after ~	~の世話をする
cut down ~	~を切り倒す	take care of ~	
deal with ~	~を処理する	do away with ~	~を廃止する
		take advantage of ~	~を利用する

◆ 感情他動詞に注意!

動詞では基本的に感情を表す単語は「~させる」という他動詞になる。

だから、自分の気持ちを表すときは受動態にしやなあかんで!

ex. He is exciting. 「 _____ 」
 He is excited. 「 _____ 」

■ 感情他動詞一覧

amuse	楽しませる	surprise	驚かせる
interest	興味を与える	amaze	驚かせる
excite	ワクワクさせる	astonish	驚かせる
trill	ワクワクさせる	bore	退屈させる
delight	喜ばせる	tire	疲れさせる
please	喜ばせる	exhaust	疲れさせる
satisfy	満足させる	disappoint	がっかりさせる
relax	リラックスさせる	discourage	がっかりさせる
move	感動させる	disgust	うんざりさせる
touch	感動させる	annoy	イライラさせる
fascinate	うっとりさせる	irritate	イライラさせる
absorb	夢中にさせる	scare	怖がらせる
involve	夢中にさせる	frighten	怖がらせる

■ 例外（受動態表現にならない）。

rejoice	喜ぶ	marvel	驚く
fear	恐れる	resent	怒る
dread	恐れる	regret	後悔する

ex. Many people **dread** death. 「多くの人は死を恐れる。」 ←能動文になる！

▼ 2 受動態の気をつけるべきバリエーション

① 〈動詞+前置詞〉と、2語以上で1つの動詞の働きをするものはそのままセットにする。

- a. She **was spoken to** by the boy. (「speak to ~」 = 「~に話しかける」)
「彼女はその男の子に話しかけられた。」
- b. The baby **was taken care of** her grandmother. (「take care of ~」 = 「~の世話をする」)
「その赤ちゃんはおばあさんが世話をした。」

② 受動態と間違えやすい表現（見た目は能動、中身は受動）

read「読める」 **sell**「売れる」 **wash**「洗える」 **cut**「切れる」 **be to blame**「責められるべき」

- a. iPhones are **selling** very sell. 「iPhone はとてもよく売れている。」
- b. This tough steak doesn't **cut** easily. 「この硬いステーキはなかなか切れない。」
- c. Your paper **reads** like a novel. 「あなたの論文は小説のように読める。」